

# 本町一丁目の獅子舞

保持団体 本町一丁目青年会  
市指定無形民俗文化財  
指定年月日 令和5年7月1日



## 荒町 旧町名

本町一丁目（旧荒町<sup>あらまち</sup>）の獅子舞は、本町一丁目青年会によって行われ、布市神社の秋祭りに巡行します。

明治31年（1898）に作られた桐材白木の獅子頭を代々<sup>いしろう</sup>用い、平成14年（2002）・令和2年（2020）に同様の意匠の獅子頭を製作しています。「誓紙血判書<sup>せいしけっばんしょ</sup>」には、明治31年に半兵衛流の入門者として荒町の住人8名の名前が記録されています。

演舞は、棒振りが獅子を倒すという「獅子殺し」を主体とします。獅子は最初に棒振りをあざ笑<sup>しよさ</sup>う所作をし、棒振り<sup>しよさ</sup>りと獅子が相対します。棒振りは、棒・薙刀・太刀の武具を用い、一人または二人で獅子殺しを演じます。

平成21年（2009）から祭囃子復興会（現・祭囃子保存会）が結成され、実演奏によるお囃子が行われています。



獅子頭  
（平成14年 知田清雲作）



布市神社